

January 12, 2021

【前日の為替概況】ドルはリスクオフで続伸、対円 104.40 円、対ユーロ 1.2132 ドル

11日のニューヨーク外国為替市場でドル円は4日続伸。終値は104.26円と前営業日NY終値(103.94円)と比べて32銭程度のドル高水準だった。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や、米ホワイトハウスのコロナ対策チームが感染力の強い新たな変異種発生の可能性を指摘したことから、景気回復の遅れが懸念されて欧米株価が軟調に推移。リスク・オフのドル買いが優勢となった。24時前に一時104.40円と昨年12月10日以来約1カ月ぶりの高値を付けた。ただ、一目均衡表雲が位置する104.32-65円が戻りの目処として意識されると上値が重くなった。一時は260ドル超下落したダウ平均が前週末終値付近まで下げ幅を縮めたことで、リスク回避のドル買いが一服した影響も受けた。

なお、トランプ米大統領の支持者が連邦議会議事堂に乱入した事件を受けて、米下院民主党はこの日、トランプ氏が「反乱を扇動した」として罷免を求める弾劾訴追決議案を下院に提出した。

ユーロドルは3日続落。終値は1.2151ドルと前営業日NY終値(1.2218ドル)と比べて0.0067ドル程度のユーロ安水準だった。欧州各国で新型コロナ感染が改めて拡大していることから、ユーロ圏の景気回復が遅れるとの懸念から売りが広がった。欧米株安に伴うリスク・オフのドル買いも優勢となり、一時1.2132ドルと昨年12月21日以来の安値を更新した。ただ、売りが一巡すると1.2174ドル付近まで下げ渋った。

ユーロ円は続落。終値は126.69円と前営業日NY終値(127.06円)と比べて37銭程度のユーロ安水準。ただ、NY市場に限れば狭いレンジでもみ合いに終始した。ドル円とユーロドルの値動きの影響を同時に受けたため、相場は方向感が出なかった。

代表的な暗号資産(仮想通貨)であるビットコインは急落した。短期的な過熱感が指摘される中、対ドルでは一時30324ドル前後、対円では308万円程度まで大幅に下落した。いずれも直近高値(史上最高値)からの下落率が20%を超えた。英金融行為監督機構(FCA)が暗号資産への投資リスクに注意を促す声明を出し、「投資する場合は資金を全て失うことを覚悟しなければならない」と強調したことが売りを誘った。

【本日の東京為替見通し】ドル円、14日の金融・財政刺激策への期待感から堅調推移か

本日の東京外国為替市場のドル円は、14日にバイデン次期米政権が発表予定の追加経済対策やパウエルFRB議長の講演への期待感から底堅い展開が予想される。

6日安値102.59円から昨日高値104.40円までのドル買い・円売りの要因は以下の通り。

米国要因として、5日のジョージア州上院議員決選投票でブルーウェーブが実現したことで、追加景気刺激策期待が高まり、米主要株式3指数が史上最高値を更新し、米10年債利回りが1.14%まで上昇したことが挙げられる。日本要因としては、7日の三者会合(財務省、金融庁、日銀)の開催により菅政権の円高阻止への警戒感が高まり、8日の緊急事態宣言の発令により円売り圧力が高まったことが挙げられる。

先週末に発表された米12月非農業部門雇用者数は、前月比14万人の減少となり、2020年通年では937.4万人の雇用喪失となり、マイナス幅はグレートリセッションとその影響が続いた2008年(355.3万人減)と09年(505.1万人減)の合計(860.4万人減)から拡大した。バイデン次期米政権は、937.4万人の雇用喪失を継承することになるが、バイデン次期米大統領が「米雇用統計で一段の新型コロナウイルス対策が必要なことが示された。財政赤字が膨らんだとしても、現時点で行動を起こすことが経済に対する支援になる。支援策は高額なものになるだろう。来週木曜日には支援策について表明する」と述べたことで、14日の追加景気刺激策への期待感が高まっている。高額と示唆されたことで、昨年末の新型コロナ景気対策法案9000億ドルを大幅に上回る2-3兆ドル規模が期待されている。また、14日にはパウエルFRB議長が講演を行うことで、増発が予想されている米国債の購入増額など米連邦準備理事会(FRB)からの景気刺激策への期待感も高まっている。

懸念材料としては、ホワイトハウスの新型コロナウイルス対策本部が米国内で従来のウイルスより感染力が50%強い可能性がある新たな変異種が発生し、感染が拡大している可能性がある、と指摘したこと、トランプ米大統領に対する弾劾訴追の行方などが挙げられる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◎ 11月国際収支速報
◇ 経常収支（予想：季節調整前1兆5520億円の黒字／季節調整済1兆9978億円の黒字）
◎ 貿易収支（予想：4746億円の黒字）
○14:00 ◇ 12月景気ウォッチャー調査（予想：現状判断指数36.8／先行き判断指数30.5）

<海外>

- 08:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演
○09:01 ◇ 12月英小売連合（BRC）小売売上高調査
○19:00 ◎ ブロードベント・イングランド銀行（BOE）副総裁、講演
○21:00 ◎ 11月インド鉱工業生産（予想：前年同月比▲1.0%）
○21:00 ◎ 12月ブラジルIBGE消費者物価指数（IPCA、予想：前月比1.22%）
○23:35 ◎ ブレイナード米連邦準備理事会（FRB）理事、講演
○13日 01:00 ◎ 12月ロシア消費者物価指数（CPI）確報値
○13日 01:00 ◎ ローゼングレン米ボストン連銀総裁、カプラン米ダラス連銀総裁、カシュカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
○13日 02:20 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演
○13日 03:00 ◎ 米財務省、10年債入札
○13日 03:00 ◎ ジョージ米カンザスティ連銀総裁、講演

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

11日 09:01 ペロシ米下院議長

「トランプ米大統領の弾劾訴追状案を下院に提出する」

11日 22:36 ホワイトハウス

「対中政策に関するさらなるオプションを検討」

11日 23:29 テンレイロ英金融政策委員会(MPC)委員

「マイナス金利の実現可能性に関する作業は依然として進行中」

「マイナス金利検討は遅すぎではない」

12日 03:32 ポスティック米アトランタ連銀総裁

「依然として多くの経済セクターへの支援が必要」

「中期的には非常に前向きに見える」

「基本的な見通しは堅調な景気回復」

12日 03:48 バイデン次期米大統領

「最優先事項は景気刺激策」

12日 06:37 バーキン米リッチモンド連銀総裁

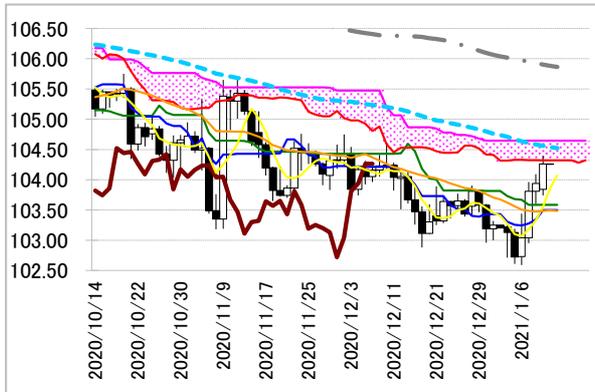
「米経済は上半期に落ち込むものの、下半期は非常に強くなる見通し」

「前年のインフレ率低下で、第2四半期には上昇する見通し」

「財政支援が数年にわたって消費支出を押し上げることを期待」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

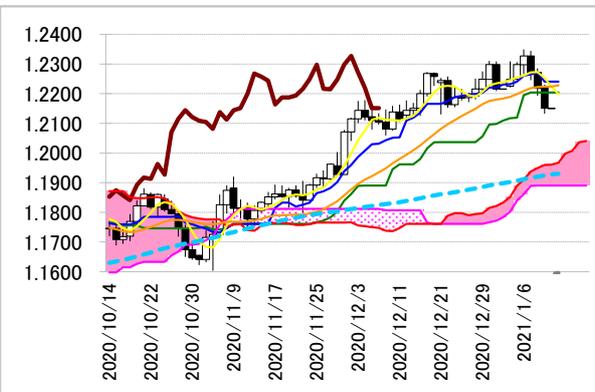


<ドル円＝転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、遅行スパンが好転し、4手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	104.65(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	104.26
サポート1	103.50(日足一目均衡表・転換線)
サポート2	102.59(1/6安値)

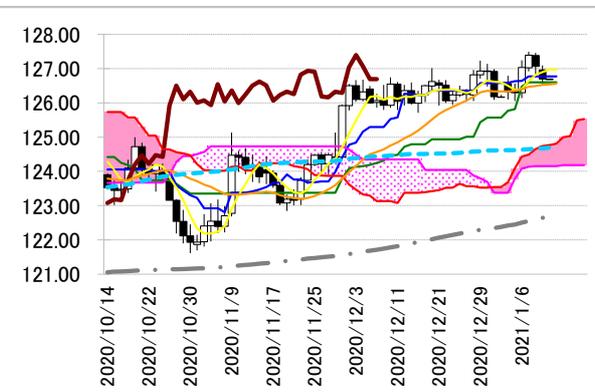


<ユーロドル＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での抱き線、3手連続陰線がかつ転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.2241(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.2151
サポート1	1.2059(2020/12/9安値)

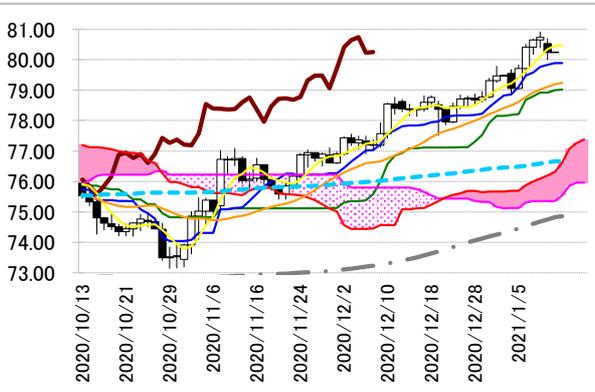


<ユーロ円＝1/7高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、2手連続陰線がかつ転換線を下回って引けていることで続落の可能性が示唆されている。

本日は、1月7日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	127.49(1/7高値)
前日終値	126.69
サポート1	125.71(2020/12/16安値)



<豪ドル円＝1/8高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯している。しかし、高値圏での三川宵の明星的なパターンで反落しており、続落の可能性が示唆されている。

本日は、1月8日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	80.93(1/8高値)
前日終値	80.23
サポート1	79.89(日足一目均衡表・転換線)

